

平成 29 年度の取組み概要（案）

予算を伴う事業については、平成 29 年度東温市当初予算案に計上しており、これらの事業については、予算の成立を前提として現時点で予定している内容となります。

1．予約制乗合タクシー「上林線」の継続運行

(1) 内容

平成 28 年 10 月から実証運行を継続した予約制乗合タクシー「上林線」について、平成 29 年 9 月末で実証運行期間が終了することから、利用状況を整理し、本格運行への移行について検討を行う。

(2) スケジュール

平成 29 年 8 月頃 平成 29 年 10 月以降の運行について上林区と協議
10 月～ 本格運行への移行（運行継続の場合）

2．パーク＆ライド、サイクル＆ライドの推進

(1) 内容

駅・バス停の近隣施設の駐車場・駐輪場を公共交通利用者に開放する仕組みづくりを行い、関係機関に協力を呼びかける。協力を得ることが出来た施設から随時実施する。

3．モビリティ・マネジメントの推進

(1) 内容

新しく東温市へ転入した世帯を対象に、市民課窓口にてアンケートを実施し、「公共交通の情報が必要」と答えた人に対して最寄りの駅等を記載した案内を送付し、公共交通の利用促進に努める。また、平成 28 年度に作成した公共交通ガイドを配布する。

(2) スケジュール

市民課窓口の繁忙期を除く約 6 ヶ月間を予定（公共交通ガイドは、在庫がなくなるまで転入者へ配布）

4．公共交通ニュースの継続掲載

(1) 内容

広報に掲載している「公共交通ニュース」を継続して掲載する。

5．子どもバス教室の開催

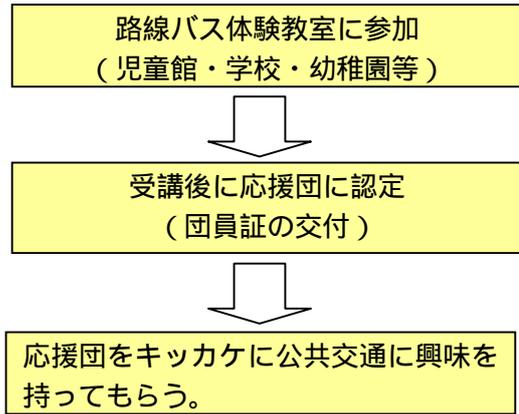
(1) 内容

東温市独自の制度として平成 26 年度に創設した「バス応援団認定制度」と子どもを対象とした路線バス体験教室を組み合わせ実施し、子どもたちに公共交通に対して親近感を持ってもらうための取組みを推進する。

< 路線バス親子体験教室の様子 >



< バス応援団認定の流れとその活動 >



東温市地域公共交通網形成計画において位置付けているその他の取組みについても
随時検討・実施を行っていく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成29年2月9日
四国運輸局

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(計画推進事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業実施 の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
東温市地域公共交通活性化協議会	<p>公共交通情報掲載冊子の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外の方にもわかりやすい内容の、公共交通に関する情報をまとめた冊子を作成する。 ・冊子は現在作成中であり、平成28年度中には完成する見込みである。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の冊子作成完了に向けて、引き続き事業を進めていく。 ・完成でき次第、市内の施設や駅等に配布を行い、東温市に転入する方にも積極的に配布し、公共交通の周知に努める。 	<p>冊子については、実際の使用の有無等の実態も把握し、内容、配布方法の検討に反映し、より効果的、継続的な取り組みとなることを期待する。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年2月9日

四国運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
東温市地域公共交通活性化協議会	伊予鉄道株式会社	白猪滝口～東温市役所 【河之内線の一系統】 (※車両減価償却費等国庫補助金交付系統) 4系統で1台購入 (平成24年度)	定期的に利用者数を調査し、状況把握に努めるとともに、公共交通便利帳の配布や、広報誌への掲載を行い、情報提供を引き続いて行った。	A	A	引き続き定期的な利用者数の調査を行い、状況把握に努めるとともに、今年度作成予定の公共交通情報冊子を用いて、東温市への転入者に対する路線バスの周知にも努めたい。	自己評価のとおり。 「東温市公共交通便利帳」の配布や乗り方教室等利用促進の取組は評価できる。今後、山間部の人口減少が予想されているので、さらなる周知やニーズの把握により目標が達成され、公共交通が維持されることを期待する。	